

| | | | | | | | (実績) | (予定) | |
|-----------------|------------|--------|---------------------------------|----|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---|
| 軟体動物 | 大阪市立自然史博物館 | 10,000 | 一般標本 (吉良哲明二枚貝コレクション他) | 文字 | 日本語 : 10,000 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 5,000 件 英語 : 5,000 件 | 日本語 : 5,674 件 英語 : 5,674 件 | 日本語 : 2,500 件 英語 : 2,500 件 | 日本語 : 10,000 件 英語 : 10,000 件 |
| | 富山市科学博物館 | 75,000 | 一般標本 (宮本コレクション他) | 文字 | 日本語 : 75,000 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 25,000 件 英語 : 25,000 件 | 日本語 : 26,109 件 英語 : 26,109 件 | 日本語 : 25,000 件 英語 : 25,000 件 | 日本語 : 75,000 件 英語 : 75,000 件 |
| | 和歌山県立自然博物館 | 3,700 | 一般標本 (池辺コレクション) | 文字 | 日本語 : 3,700 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 3,700 件 英語 : 3,700 件 | 日本語 : 5,428 件 英語 : 5,428 件 | 日本語 : 0 件 英語 : 0 件 | 日本語 : <u>5,428 件</u> 英語 : <u>5,428 件</u> |
| | 西宮市貝類館 | 15,000 | 一般標本 (黒田徳米コレクション) | 文字 | 日本語 : 15,000 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 5,000 件 英語 : 5,000 件 | 日本語 : 4,050 件 英語 : 4,050 件 | 日本語 : 5,000 件 英語 : 5,000 件 | 日本語 : 15,000 件 英語 : 15,000 件 |
| | 福井市自然史博物館 | 14,000 | 一般標本 (古川田溝コレクション、鈴間愛作コレクション) | 文字 | 日本語 : 11,000 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 2,000 件 英語 : 2,000 件 | 日本語 : 4,016 件 英語 : 4,016 件 | 日本語 : 3,000 件 英語 : 3,000 件 | 日本語 : 11,000 件 英語 : 11,000 件 |
| 節足動物 (主に甲殻類) | 大阪市立自然史博物館 | 3,000 | 一般標本 | 文字 | 日本語 : 0 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 0 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 0 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 1,000 件 英語 : 1,000 件 | 日本語 : 3,000 件 英語 : 3,000 件 |
| | 富山市科学博 | 14,000 | 一般標本 | 文字 | 日本語 : 14,000 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 4,000 件 英語 : 4,000 件 | 日本語 : 0 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 4,000 件 英語 : | 日本語 : 14,000 件 英語 : |

| | | | | | | | | | |
|----------|-------------|-------|-------------------------|----|---------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---|
| | 物館 | | | | 件 | 件 | 件 | 4,000 件 | 14,000 件 |
| | 和歌山県立自然博物館 | 1,200 | 一般標本 (永井カニ類コレクション) | 文字 | 日本語 : 1,200 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 1,200 件 英語 : 1,200 件 | 日本語 : 1,750 件 英語 : 1,750 件 | 日本語:0 件 英語 : 0 件 | 日本語 : <u>1,750 件</u> 英語 : <u>1,750 件</u> |
| | 北九州市立自然史博物館 | 3,000 | 一般標本 | 文字 | 日本語 : 3,000 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 1,000 件 英語 : 1,000 件 | 日本語 : 1,000 件 英語 : 1,000 件 | 日本語 : 1,000 件 英語 : 1,000 件 | 日本語 : 3,000 件 英語 : 3,000 件 |
| その他無脊椎動物 | 大阪市立自然史博物館 | 3,000 | 一般標本 (小郷ウミユリコレクション他) | 文字 | 日本語 : 0 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 0 件 英語 : 0 件 | 日本語:0 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 3,000 件 英語 : 3,000 件 | 日本語 : 3,000 件 英語 : 3,000 件 |
| | 富山市科学博物館 | 1,000 | 一般標本 | 文字 | 日本語 : 1,000 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 300 件 英語 : 300 件 | 日本語:0 件 英語 : 0 件 | 日本語 : 500 件 英語 : 500 件 | 日本語 : 1,000 件 英語 : 1,000 件 |

(注) 実際の作業工程としては、すでに存在する日本語データ（「現在のデータ数」に含まれるもの）についても、GBIF フォーマットにあわせるための加工（産地データを国・都道府県・市町村などの要素にわけるといった）が必要であったため、今年度の「作成データ数」にはそれらの現存日本語データの数も含めている。

3. データ項目について

当初計画ではGBIFプロジェクトの標準項目（Darwin Core 2 又は ABCD スキーマ）に対応した項目を整備することとしており、当初計画どおり実施した。

4. データのクオリティ・コントロールについて

【分類群情報について】基本的に台帳登録済みの収蔵標本を対象としたが、無脊椎動物は他の分類群に比べて同定が困難なものが多く、種レベルの同定が未了の標本が多く含まれていた。したがって、これらの標本は必要に応じて各分類群の専門家に同定を依頼した。今年度の同定依頼の概要は以下の通りである。

- ・和歌山県立自然博物館所蔵永井カニコレクション：武田正倫氏（帝京平成大学教授）に依頼、新規同定約 30 件、既同定種の再確認約 800 件。
- ・富山市科学博物館所蔵甲殻類標本：奥野淳兒氏（千葉県立中央博物館上席研究員）に依頼、新規同定 646 件。
- ・富山市科学博物館所蔵多板類標本：齋藤寛氏（国立科学博物館研究主幹）に依頼、新規同定 609 件。
- ・大阪市立自然史博物館所蔵無脊椎動物標本：林勇夫氏（京都大学名誉教授）に依頼、新規同定約 300 件。
- ・大阪市立自然史博物館所蔵無脊椎動物標本：幸塚久典氏（長崎ペンギン水族館職員）に依頼、新規同定約 100 件。

なお、上記同定標本データの一部は、他のデータ項目チェックの関係から、平成 21 年度以降に登録を行うこととした。

【古い地名等について】相当な知識を持つ人材に inputs を依頼することで、クオリティコントロールを行った。

5. 課題終了後の運用について

現在のところ GBIF プロジェクトは順調に進んでおり、データベースの運用は課題終了後も維持されると予想される。

6. 他機関、学会等との連携について

標本同定作業については、帝京平成大学、千葉県立中央博物館、国立科学博物館、長崎ペンギン水族館等の機関に協力を得て進めることができた。

7. 国内的・国際的寄与について

(単年度報告書では記載不要)

8. データ公開について

8-1. データ公開の問題点について

当初計画で見込まれた以外の大きな問題点は今のところ見いだされていない。なお、絶滅危惧種の取り扱いについては、次年度以降のワーキンググループで審議を行う予定である。

8-2. システムの改修について

本課題には該当しない。

9. 推進体制

| | |
|-----------------------|--|
| 代表研究者 | 山西良平 大阪市立自然史博物館 館長 全体の統括 |
| 参加研究者 (自機関・他機関を含む) | 山西良平 大阪市立自然史博物館 館長 石田 惣 大阪市立自然史博物館動物研究室 学芸員 データの入力管理 (軟体動物、その他無脊椎動物) 布村 昇 富山市科学博物館 館長 データの入力管理 (甲殻類、その他無脊椎動物) 大谷洋子 西宮市貝類館 学芸員 データの入力管理 (軟体動物) 今原幸光 和歌山県立自然博物館 副館長 データの入力管理 (甲殻類、その他無脊椎動物) 梅田美由紀 福井市自然史博物館 学芸員 データの入力管理 (軟体動物) 下村通誉 北九州市立自然史・歴史博物館 データの入力管理 (甲殻類) |
| 雇用等を希望する アルバイト等 | アルバイト 10名 (データ入力) その他 5名 (標本同定) |
| アドバイザー委員会 | なし |
| ワーキンググループ | あり |

10. スケジュール

| | H20 年度 | H21 年度 | H22 年度 |
|----------|--------------------|-----------------|----------------|
| データ作成・入力 | → 同定作業 | → 同定作業 | → 同定作業 |
| 試験公開 ※1 | → GBIF 日本ノード | | |
| 公開 ※1 | | → GBIF 日本ノード | → |
| その他 ※2 | △ △ 会議 (7月、12月) | △ △ 会議 (2回) | △ △ 会議 (2回) |

試験公開が遅れる理由：現時点で今年度整備したデータはサーバへの登録が可能な状態だが、GBIF 日本ノード側のサーバ登録作業の進捗によっては平成 21 年度にずれ込む可能性があるため。